

種名	<u>タイコウチ</u> <u>Laccotrephes japonensis</u> 
分類	カメムシ目タイコウチ科
形態的な特徴	頭部が小さく、体全体が暗褐色で光沢がない。タガメと違って二本の細長い呼吸管があり、先端以外は二本がぴったりとくっついている。
分布	本州、四国、九州、沖縄に分布する。
繁殖行動	水中の藻や水面近くの苔の上などに上り、卵を産みつける。卵の先端のひものような部分は空気を取り入れるためのもので、先端まで水につかっていると死んでしまう。卵は 1～2 週間でふ化し、幼虫は 5 回の脱皮を繰り返し、成虫になる。
生息場所	流れの緩い小川や水田、池沼に生息する。ミズカマキリに比べると浅い水域を好む傾向がある。
食性	肉食性でオタマジャクシや小魚などの小動物を捕らえると、口吻を突き刺し、毒液の混ざった消化液を流し込み、体液を吸う。
生息環境への配慮事項	生活サイクルの中で水田のような環境と池沼を行き来することが確認されており、それらを総合的に保全する必要がある。肉食性のため、餌となる小動物が生息している事も重要であり、水生植物の繁茂した止水域などが必要となる。
その他	
引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変	